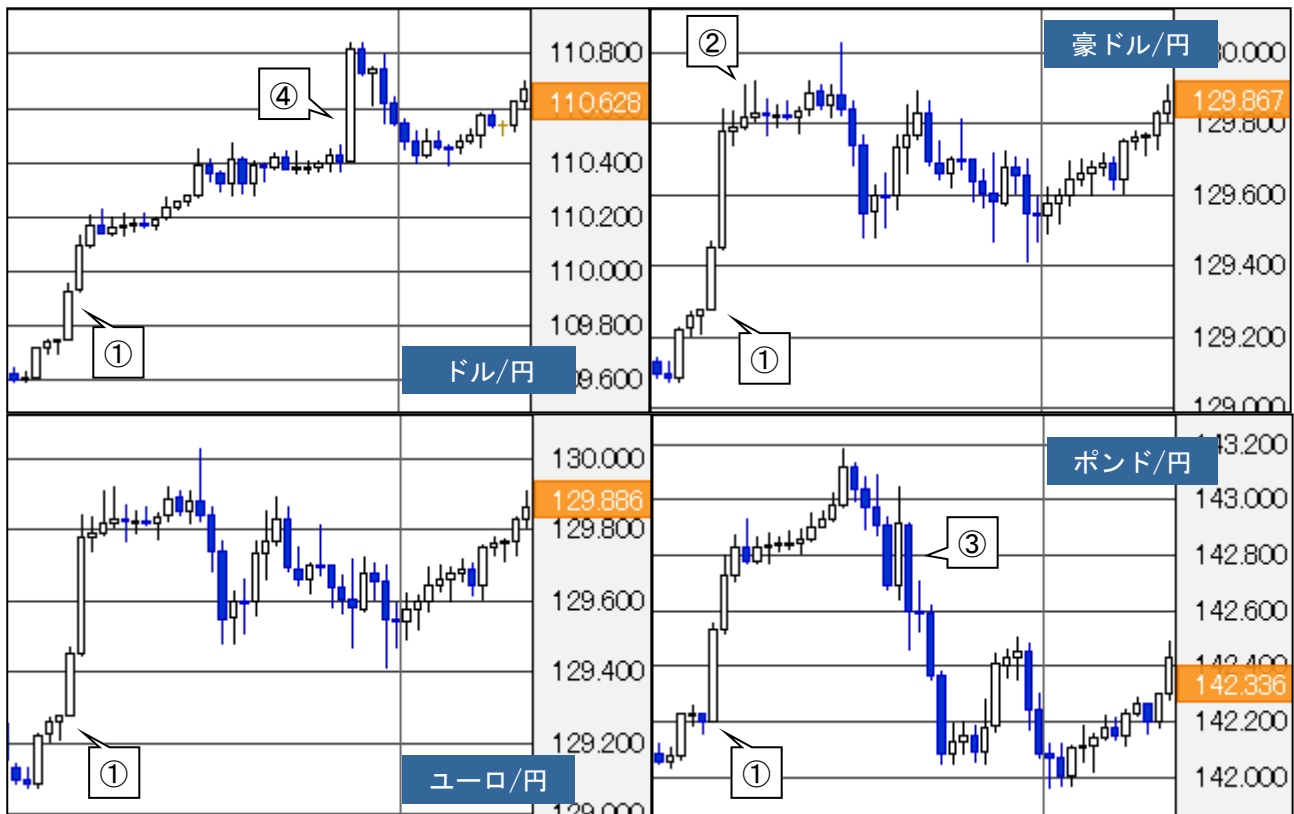


8月16日(水曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 北朝鮮リスク緩みドルに見直し買い

### 15日(火)の為替相場



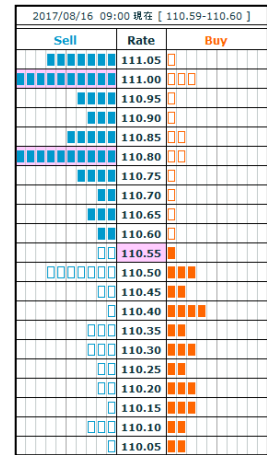
期間：15日(火)午前6時10分～16日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は、米領グアム島周辺への弾道ミサイル発射計画について「常に発射態勢を維持しなければならない」とした一方、「米国の行動をもう少し見守る」と述べて、すぐには発射に踏み切らない考えを示した。これを受けてリスク回避ムードが緩和する中、ドル/円やクロス円は上昇した。
- ② RBA議事録では「豪ドルのさらなる上昇は経済成長やインフレを鈍化させる」「金利据え置き、成長・インフレ目標に整合的」「第2四半期からGDPは上向き、2018、2019年には約3%の成長を見込む」「住宅価格と家計債務は、依然として注意深く監視する必要」などとの見方が示された。
- ③ 英7月消費者物価指数は前年比+2.6%と、市場予想(+2.7%)に届かなかったが、同小売物価指数は前年比+3.6%、同生産者物価指数も前年比+3.2%と、市場予想(+3.5%、+3.1%)を上回った。
- ④ 米7月小売売上高は前月比+0.6%と2016年12月以来の高い伸びとなり、市場予想(+0.3%)を大きく上回った上に6月分も大幅に上方修正(-0.2%から+0.3%へ)された。これを受けて、米長期金利の上昇と共にドル買いが強まると、ドル/円は110.845円まで上値を伸ばした。なお、自動車を除いた米7月小売売上高は前月比+0.5%と、こちらも市場予想(+0.3%)を上回る好結果であった。また、同時刻に発表された米8月NY連銀製造業景況指数も市場予想(10.00)を大幅に上回る25.20となり、2014年9月以来の高水準を記録した。

15日(火)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19753.31 (△216.21)	5757.483 (△27.076)	3251.262 (△13.902)	7383.85 (△29.96)	12177.04 (△11.92)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21998.99 (△5.28)	0.050% (▼-0.008)	2.648% (△0.030)	1.084% (△0.013)	0.433% (△0.026)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3465% (△0.0283)	2.2728% (△0.0543)	47.55 (▼0.04)	1279.7 (▼10.7)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.300	129.200-130.700	86.100-87.300	141.500-143.200

【ドル/円】

昨日のドル/円は、1週間ぶりに110円台後半へと上昇した。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が、グアムへのミサイル発射計画について、「決定を下す前にもう少し米国の行動を注視する」姿勢を示したとの報道を受けて軍事衝突への警戒感が緩んだ。また、米7月小売売上高が個人消費の力強い伸びを示唆する好結果となった事で年内の追加利上げ期待が再浮上した。

ドル/円は、トランプ米大統領が北朝鮮に対して「炎と猛威に直面するだろう」と威嚇した8日の水準を上回っており、4日の米7月雇用統計で付けた月初来高値111.047円の更新も視野に入ってきた。本日は、NY市場終盤に発表される米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録が、さらなるドル買い材料となるか注目されよう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/16(水)	17:30	○	(英) 7月失業者数	+0.59万人	—
	17:30	○	(英) 7月失業率	2.3%	—
	17:30	◎	(英) 週平均賃金(4-6月、前年比)	+1.8%	+1.8%
	18:00		(ユーロ圏) 4-6月期GDP・改定(前年比)	+2.1%	+2.1%
	21:30	○	(米) 7月住宅着工件数	121.5万件	122.0万件
	21:30		(米) 7月建設許可件数	127.5万件	125.0万件
	23:30		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	27:00		(米) FOMC議事録(7月25・26日分)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。